

## 税が築く命の防波堤

学校法人大阪医科薬科大学高槻中学校 3 年

平松 泰征

先日、私は地元の防災訓練に参加しました。訓練の内容は、南海トラフなどの巨大地震の発生を想定した避難の動きを実践するものでした。この体験を通じて、私たちが普段当たり前に思っている「安全」が実は税金によって支えられていることに気づきました。避難所として利用された施設や訓練に必要な設備は、全て税金によって整えられているのです。防災訓練の後に見た施設や設備の背後には、多くの人々が支える税金の存在があることを実感しました。その体験を通じて、税金がどれほど私たちの命を守るために役立っているのか考えずにいられませんでした。税金が地震対策にどのように使われているか知ることによってその重要性はより一層際立ちます。

例えば、税金は耐震補強工事に投資され、古い建物や橋や橋梁が地震に耐えられるように改修されています。私が住んでいる地域でも、近年多くの公共施設や学校が耐震補強工事を終え、地震発生時の安全性が大幅に向上しています。これらの工事は税金によって支えられており、実際に地域住民の安全を確保するために役立っています。さらに、税金は防災施設の建設にも使われています。新しく設置された避難所や防災センターは、実際の災害時に役立つだけでなく、日頃の防災訓練でその機能を確認することができます。私が訓練に参加した際、これらの施設が実際に機能する様子を見て税金の重要性を改めて実感しました。

また、税金がもたらす影響は、物理的なインフラや施設にとどまりません。税金は、地震予測技術の向上や新しい防災技術の開発は、税金による投資があって初めて実現するものです。これにより、さらに精度の高い地震予測が可能となり、早期の警戒や適切な避難行動を促すことができます。税金によって支えられるこれらの技術や研究は私たちの未来の安全に直結しています。例えば新たな防災技術の開発により、より迅速に予兆を捉えることができ、被害を大幅に減少させることができます。このような投資が私たちの命を守るためにどれほど重要か理解することで税金の意義がより深く感じられるでしょう。

税金は単なる負担ではなく、私たちの未来を守るための「命の防波堤」を築くための資源です。巨大地震のリスクが高い日本において税金によって支えられる耐震補強や防災施設、技術開発がどれほど私たちの安全を支えられているか理解することが大切です。税がもたらす具体的な安全策が私たちの命を守り安心して暮らせる未来を支える力になることを信じています。私たち一人一人が税金の意義、そして使い道に興味を持つことでより安全で安心な社会を築くための一歩を踏み出すことができるでしょう。税金を通じて築かれる「命の防波堤」が私たちの未来を守るためのより強固な盾となると私は考えます。